

八ヶ岳南麓における、中部横断自動車道建設に関する要望

2011年 2月 2日

国土交通省 関東地方整備局
道路部道路計画第一課 課長補佐 小幡 様

八ヶ岳南麓中部横断自動車道を考える会(仮称)

日頃より、八ヶ岳南麓地域のためにご尽力をいただき、有難うございます。

私たちは、八ヶ岳南麓の豊かな自然と美しい景観を愛し、住む人や訪れる人にとって心地よい環境を守り、さらに経済活動とも共存を図ることを願って活動している市民団体です。

この地に住む私たちは互いに交流を深めながら、多様な視点で八ヶ岳南麓の変化を見て参りました。

先般、新聞やニュースで、中部横断自動車道の長坂―八千穂間(34.5km)の必要性を検証する「計画段階評価」の第一回目が昨年12月2日に、第2回目が1月20日に国交省で行われたことを知りました。私たちは、この度の中部横断自動車道の必要性及び、その検証の進め方に数々の疑問と危惧の念を抱いております。

そこで、中部横断自動車道の建設評価に関わる皆様方に、私たち住民の意見、そして、要望をお伝えたく、本状をお送りすることに致しました。

●本状の要点

1 : 中部横断自動車道建設の「必要性検討の仕方」と、「建設」への疑問と危惧

[1] 地元住民へ情報開示と、意見聴取が不十分である

本件について、山梨県も北杜市も地元住民への説明及び意見の聴取は一切していない。

住民参加なく、計画の必要性の検討が行われている。

実施内容が固まったとされる住民へのアンケートも「建設の必要性あり」を前提とした情報提供と設問である。

このような検討の仕方及び建設への疑問と危惧がある。

[2] 自然環境と景観の、中部横断自動車道建設による破壊に関する疑問と危惧

建設による、自然と景観の破壊という将来に亘る「負荷」と、「便益」とのバランスについて、十分な検討と討議が行われているのか、という疑問と危惧がある。

- ・北杜市の観光施策と矛盾し、阻害要因となることへの疑問と危惧。
- ・八ヶ岳南麓の固有の魅力、観光資源の喪失の危惧（景観、豊かな自然、）。

[3] 中部横断自動車道建設のメリットとして挙げられている地域振興についての疑問と危惧

- ・通過型観光地になることへの危惧。
- ・地域分断に対する危惧。
- ・救急医療の迅速化や、災害時の代替道路の確保というメリットへの疑問。

[4] 費用対効果、及び財政負担に関する疑問と危惧

人口や車台数の減少など、変化の予測など効果算定の検討方法、また、自然や景観の破壊の貨幣価値換算、そして、財政負担に関しての疑問と危惧。

2 : 要望事項

計画段階評価の第2回関東地方小委員会で、地域の意見聴取方法を決めるとなっているが、私たちは、**1** で記したように、数々の疑問と危惧を感じている。

そこで、下記のことを要望する。

[1] アンケート実施前に、住民に情報を開示し、説明を行うこと。

[2] 地元住民の意見を聞く場を設けること。

その意見の聴き方は関東地方整備局の庁舎内での会議だけでなく、地元の個人や団体が地方小委員会に対して直接表明する場を設ける等、多様なルートを保証すること

[3] 市民参加による評価と市民主体による判断の実施をすること

- ・必要性検討段階からの市民参加
- ・アンケートの設問設定への市民参加
- ・市民を主体の、建設必要性の有無の判断
- ・建設のメリット、デメリットの判定を、中間的な第三者の立場からの判定の追加
- ・複数の候補ルートでの、環境アセスメント
- ・環境アセスメントへの市民参加

以上、貴官及び評価委員会でご検討の上、書面にてご回答をいただきたく、お願いを申し上げます。

八ヶ岳南麓における、中部横断自動車道建設に関する要望 <詳細>

1: 中部横断自動車道建設の「必要性検討の仕方」と、「建設」への疑問と危惧

[1] 地元住民へ情報開示と、意見聴取が極めて不十分である

山梨県や北杜市は、中部横断自動車道の建設が地元住民の悲願であるようなことを表明していますが、未だに、住民は中部横断自動車道の建設について一切知らされていません。また、住民の意見を聴取したこともなく、住民が賛成しているというのは、行政の一方的な判断であり、八ヶ岳南麓の住民は、建設について反対か、建設による様々な問題の発生を危惧しているのが実状です。

また、第2回小委員会で、内容が固まったとされる住民アンケートも、目的を「計画段階評価の審議の参考にする」としながら、「建設の必要性あり」を前提とした情報提供であり、下記に挙げる私たちの疑問や危惧に答える内容ではありません。また、設問も、高速道新設か清里高原道路の活用かの二者択一を促す設問で、他の代替案の検討を封じるものであり、大きな疑問を感じます。

[2] 豊かな自然環境と美しい景観の、中部横断自動車道建設による破壊に関する疑問と危惧

(1) 建設による、自然と景観の破壊という将来に亘る「負荷」と、「便益」とのバランスについて、十分な検討と討議が行われているのか、という疑問と危惧

日本は、自然を大事にし、自然によって生かされているという自然観が継承され、豊かで、美しい自然が守られてきた国です。しかし、戦後の高度成長による一般道路や高速道路建設ラッシュにより、空気・水・空などの汚染と自然破壊が繰り返された結果、自然が治癒不可能な状態にある例が数多く見られます。

そのような現状の中で、八ヶ岳南麓は、森林県山梨の中でも、日本に残された、数少ない豊かな自然と、美しい景観を誇れる地域です。

この自然と景観は、北杜市にとって最大の資産であるだけでなく、日本の資産であり、宝です。特に、360度のパノラマで遠望できる山並み景観の美しさは、住む人、訪れる人から共通して高く評価されており、世界に誇れるものです。この自然と景観と共生し、破壊することなく育むことが、住民はもとより、国民全体に、今、求められています。

この自然と景観を保全してきた先人達に報い、また、未来の世代に誇りを持って引き継ぐためにも、私たちの責任は極めて大きいことを自覚し、本件も検討すべきだと考えております。山間森林地域での自動車道建設は、建設道路や資材置き場の設置などを含めて、大きな自然破壊が生じることを、私たちは、清里高原道路(旧有料道路)の建設で経験しており、一度破壊されたら、この地の世界に誇る自然と景観は決して戻りません。そうまでして、建設する意義が本当にあるのでしょうか。その将来に亘る、北杜市という地域を超えた「負荷」と「便益」とのバランスについて、十分な検討と討議が行なわれているのか、疑問と危惧を感じております。

(2) 北杜市の観光施策と矛盾し、阻害要因となることへの危惧

山梨県への観光客が一番求めているものは、「自然を楽しむ」(H21 年県観光客動態調査)ための良質な自然と景観です。

そして、北杜市が提唱している「環境日本一の潤いの杜づくり」「品格の高い感動の杜づくり」「リゾートの杜づくり」は、豊かな自然や美しい景観を基盤とした施策です。

次項に挙げるように、八ヶ岳南麓には、固有の自然と景観の魅力・観光資源があります。それらが、豊かな自然・森林を分断する中部横断自動車道や通行する自動車によって、永遠に失われるのではないかと。北杜市の観光施策と矛盾するだけでなく、むしろ阻害するのではないかと。

このように、北杜市内八ヶ岳南麓における中部横断自動車道の建設に大きな疑問と危惧を感じています。

(3) 八ヶ岳南麓の固有の魅力、観光資源の喪失の危惧

中部横断自動車道建設により、八ヶ岳南麓の固有の、自然と景観の魅力を喪失しかねません。これによって、大切な観光資源や景観という宝を失うことを危惧しています。

ア. 世界一流の 360 度の遠望景観の喪失

中部横断自動車道は、評価の高い**世界一流の山並みの遠望景観を阻害・寸断し、八ヶ岳南麓地域の最も価値ある魅力を破壊**することになります。

イ. 豊富な野生動物・植物の生息環境の喪失

中部横断自動車道の建設は、八ヶ岳南麓の豊かな森林を分断し、八ヶ岳山麓に生息する野生動物や植物の生息環境を悪化させ、これらの大切な観光資源を消滅させることになります。

ウ. 騒音による静寂の喪失

八ヶ岳山麓には多くの別荘が点在し、現在は静かな住環境が保たれていますが、中部横断自動車道の建設によって自動車による騒音公害の発生が予想されます。

エ. 大気汚染による清涼な空気の喪失

八ヶ岳山麓の豊かな森林による、爽やかで清涼な空気が八ヶ岳山麓の魅力ですが、中部横断自動車道を通る自動車の排気ガスにより、その魅力が失われることになります。

オ. 高速道の照明、自動車のライトなどによる、夜の星空の喪失

八ヶ岳南麓は空気が澄み、晴天率も高く、また広い空を享受できるため、星空愛好家が垂涎する地域です。しかし、高速道やジャンクションの照明、自動車のライトなどにより、美しい星空が失われます。

[3] 中部横断自動車道路建設のメリットとして挙げられている地域振興についての疑問と危惧

(1) 通過型観光地になることへの危惧

中部横断自動車道の建設理由に、八ヶ岳南麓の観光客を長野県に呼び込むことが示されていますが、逆に八ヶ岳南麓を観光客が滞在することなく通過することは明白です。何故なら、高速道路 1000円が実施されて以来、観光客数は増えたにもかかわらず通過型になり、事業へのマイナスを経験している観光業者が多いからです。

また、高速道の建設で交通事情が良くなったために、落ち着いた観光地としての魅力が失われ、その結果、通過型になった観光地で繁栄した例は、全国でも、ほとんどありません。その前例からも、この八ヶ岳南麓地域が衰退することは疑いようもありません。

(2) 地域分断の危惧

中部横断自動車道により、周辺の土地利用が分断され、地域住民の利便性が悪化する可能性も大きく、地域振興への寄与には疑問があります。

(3) 救急医療の迅速化や、災害時の代替道路の確保というメリットへの疑問

救急搬送の迅速化は、単に、高速道の建設に依存するより、ドクターヘリの利用で、達成できるのではないのでしょうか。さらに、高速自動車道は少数のICでしか、アクセスできません。

集落が点在する建設計画地域では、各集落の生活道路や農道と密接する国道141号の走行性の向上や、災害に対する耐性の向上を図る方が、効果的ではないのでしょうか。

また、医療施設や医師の充実など、総合的な地域医療施策の中で、検討が進められなければ、効果は薄いという疑問があります。

そのような検証がなされているのか、疑問に感じております。

[4] 費用対効果、及び財政負担に関する疑問と危惧

現在公共事業で用いられている費用便益計算で進められ整備された、地方空港が経営赤字になり、自治体の負担になっていることは、よく知られている事実です。そのような便益計算(B/Cが1を超えるような)で算定をされても、本当に効果があるのか疑問です。

また、資料では、将来の人口と車台数の減少を、どの程度考慮しているのか疑問です。

そして、効果の算定についても、例えば南牧村や川上村のレタスなど、農産物輸送の重要性が挙げられていますが、10、20年後の予冷技術の向上や、輸送技術の向上が考慮されているのか、疑問です。また、これらの生産額の推移など、今後の正確な予測が難しい項目が多い点をどのように考慮しているのかも疑問です。

費用計算については、[2]項で記述した環境への害を貨幣価値換算して、便益計算から差し引くべきですが、現在の費用便益計算方式はそうなっていません。それ自体が問題だと考えます。

そして、建設の負担、また、その後の維持管理費の負担を、国がするのか、それとも地方自治体なのか、述べられておらず、疑問です。

2 : 要望事項

計画段階評価の第2回関東地方小委員会で、地域の意見聴取方法を決めることになっていますが、私たちは上述しましたように、数々の疑問と危惧を感じております。

また、第2回小委員会で内容が固まったとされる住民アンケートは、「建設の必要性あり」を前提とし

た情報提供と、高速道新設あるいは清里高原道の活用の二者択一を促す設問であり、私たちは、アンケート実施以前に、住民への情報開示とオープンな形での意見聴取があるべきだと考えております。

そこで、下記のことを要望致します。

[1] 市民への情報開示を行っていただきたい。

[2] アンケート実施まえに、住民の意見聴取の場と機会を設けていただきたい。

過去において山梨県も北杜市も地元住民の意見を聴取したことがなく、中部横断自動車道の建設計画について一切知らせていません。このような住民を無視した判断に基づいて、必要性の判断が行われることは、納得できるものではありません。

アンケート実施まえに、住民への情報公開および丁寧な説明、そして住民の意見聴取の場と機会を設けていただきたく、要望致します。

そして、アンケート内容についても、その公開と、住民意見の取り込みを要望致します。

- ・聴取方法は関東地方整備局内での会議だけでなく、地元の個人や団体が個別に地方小委員会事務局に対して表明することも認める等、多様なルートを保証していただきたい。
- ・北杜市の生存をかけた事業ですので、ルートや建設後の状況などが住民に理解できるように、パワーポイント等映像を用いて説明会を開き、その上で意見聴取を行っていただきたい。

[3] 市民参加による評価と、市民主体による判断を実施していただきたい。

- ・必要性検討の段階から、市民参加による評価を実施していただきたい。
- ・アンケートの設問設定についても、市民参加を実施していただきたい。
- ・市民を主体に、建設必要性の有無を判断していただきたい。
- ・建設のメリット、デメリットの判定を、建設推進派、反対派だけでなく、中間的な第三者の立場からの判定も加えて、実施していただきたい。
- ・複数の候補ルートでの、環境アセスメントを実施していただきたい。
- ・それらの環境アセスメントへの市民参加を実施していただきたい。

以上、私たちの要望のご理解と、要望事項の実施を、重ねてお願い申し上げます。

八ヶ岳南麓中部横断自動車道を考える会(仮称) (以下順不同)

八ヶ岳自然ガイド協会 (代表 齋藤 一紀)

407-0301 山梨県北杜市高根町町清里 3545

八ヶ岳歩こう会 (事務局長 多賀 純夫)

八ヶ岳ネットワーク (事務局長 中川 弘一)

NPO 法人 八ヶ岳南麓景観を考える会 (理事長 桑田愛子)

緑のネットワーク 21 (代表 向井 恵子)

北杜市21を考える会 (代表 小林 伸一)

八ヶ岳エコツーリズム協会 (代表 清水 稔三)